

CONTENTS

- 2 情熱の奥州人
- 4 11月は国民年金月間
あなたを支える国民年金
- 6 11月は児童虐待防止推進月間
みすごすな 幼い子どもの SOS
- 8 平成23年度
保育所・幼稚園の園児を募集します
- 10 麻しん風しん予防接種を受けましょう
日本脳炎予防接種が可能になりました
小学生の医療費を助成します
大腸がん・乳がん検診の未受検者を対象とした検診を行います
- 12 「秋の叙勲・褒章」「危険業務従事者叙勲」～荣誉に喜びの声
- 13 秋の全国火災予防運動
- 14 市の出来事から
- 16 まちの話題
- 18 つながれ 広がれ NPOの輪
- 20 子そだて広場
わが家のアイドル
- 21 消費生活相談Q&A
市長コラム「おうしゅう羅針盤」
お元気レシピ
- 22 キラリ人輝く
夢トーク
- 23 クラブ紹介
ぼんたのつぶやき
- 24 暮らしの情報
- 28 奥州遺産

〈今月の表紙〉



JA江刺りんご部会（関村武文部会長）が進める江刺りんごサポーターの収穫体験が10月23日、JA江刺園芸センターと稲荷崎りんご園（紺野克彦代表）で行われました。秋晴れの下、県内各地から31人のサポーターが集結。おいしいりんごの見分け方を伝授されたサポーターは、真っ赤に実ったジョナゴールドを笑顔で収穫していました。



厨房では料理人の厳しいまなざしを見せる伊藤シェフ

県内初の出張料理人、牛の博物館に併設されるレストラン「ロレオール」オーナーシェフなどの顔を持つ勝康さん。昭和38年、千葉県市原市で生まれた。「小さなころから山菜やキノコ、アサリなどを採って食べるのが大好きだった」と料理人を志したきっかけを語る。

羽田空港内のレストランで腕を磨き、本場フランスでの修行を考えていた平成7年、勝康さんに転機は訪れる。前沢牛の産地として興味があった妻のふるさと前沢に料理長として招かれ、岩手へのIターンを決意。

そこから、地域の食材にこだわる岩手フレンチへの挑戦が始まった。「岩手は食材の宝庫。その土地の『土』に合っ

た食材に出会うのが楽しみ」と少年のような笑顔を見せる。「農家に食材を買い付けに行く」とおしよすくて、売られねえ」と断られた」と笑うが、勝康さんの魅力に引き込まれ、今では多くの農家が応援団に。12年に始めた出張料理は、レストランに来ることができない家族の食卓に出会い、多くのことを教えられたと現在も続ける。食べておもしろければ、素材も買ってもらえると、15年からは農家の主婦と農産物の加工に取り組み始めた。

『ロレオール』には、「食を通じ幸福の光を届けられますように」との思いが込められる。ゆくゆくはオーベルジュ（宿泊施設付きレストラン）をと、勝康さんの夢のレシピは限りなく広がる。

情熱の奥州人

②

料理とは、自分を映す鏡
だから満足できず、やめられない

伊藤 勝康さん（47歳）
前沢区生母字長根



いとう・かつやす◎昭和38年千葉県市原市生まれ、平成7年に旧前沢町へIターン。饅頭場・饅頭ドリームキッチンあこび代表取締役、料理人。妻、娘と3人暮らし。